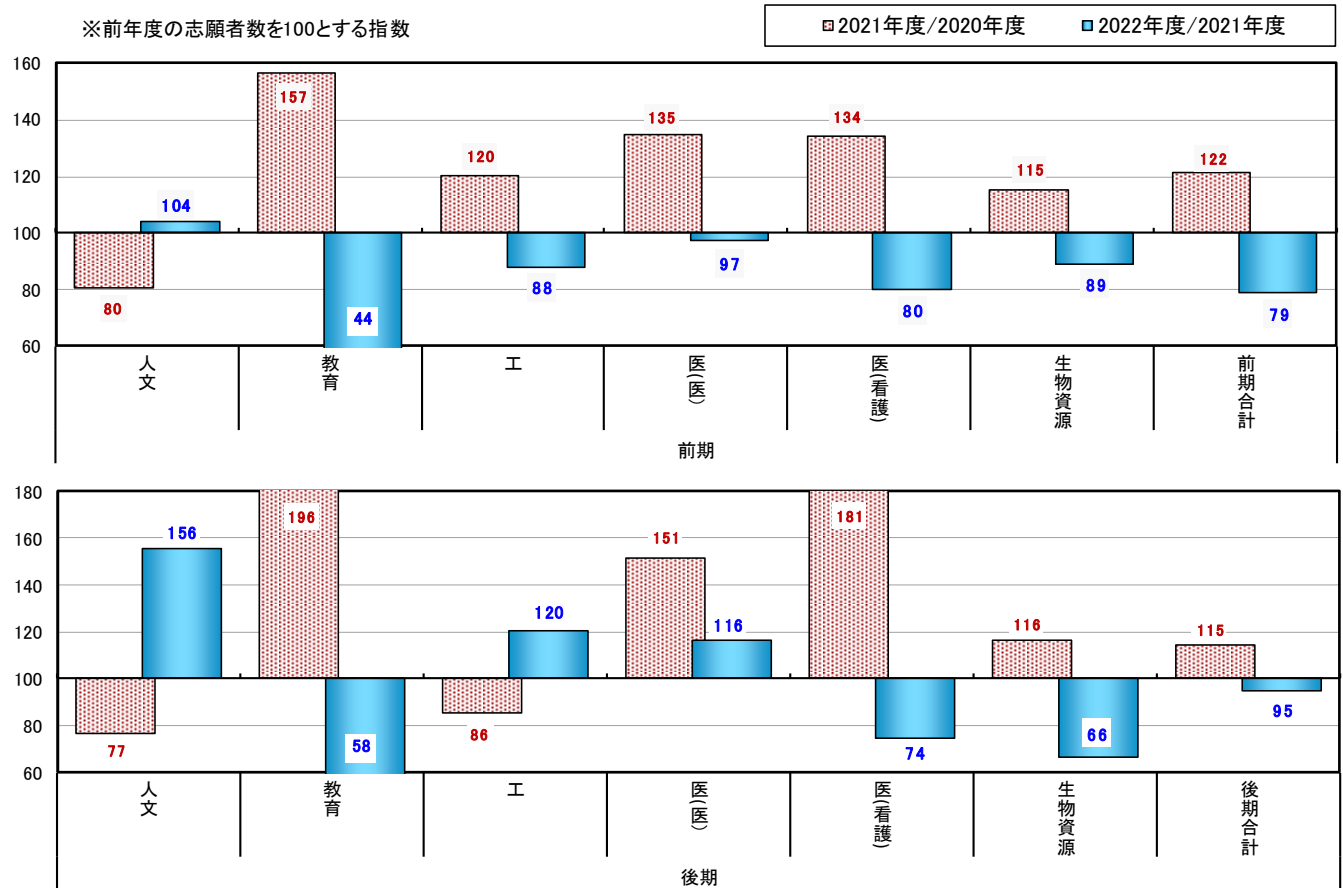


三重大：前期は大幅減少、後期はやや減少

前期：-650 人 後期：-133 人



COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は前年度大幅増加の反動で 650 人(79)の大幅減少、志願者数は 6 年ぶりに 2,500 人を下回った。後期は前年度大幅増加の反動は小さく 133 人(95)のやや減少。

<前期日程>

- 人文(104)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。学科別では、(文化)(145)は前年度 40%の大幅減少の反動で大幅増加だが、志願者数は 200 人に届かなかった。(法律経済)(86)は減少で 4 年連続減少、志願者数は 250 人を下回った。
- 教育(44)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願者数は 400 人を下回った。課程・コース・専攻・選修別(以下「募集単位別」)では、24 募集単位中 19 募集単位が減少。また、募集人員が少ない募集単位が多いことから増減が極端になりやすく、20 募集単位で 20%以上の増減があった。(学校教育教員養成/学校教育-教育学)(9)は、前年度約 14 倍の大幅増加の反動で激減。志願倍率は 24.1 倍→2.1 倍に大幅ダウン。(学校教育教員養成/社会科-初等)(16)、(学校教育教員養成/特別支援)(19)、(学校教育教員養成/国語-初等)(30)、(学校教育教員養成/社会科-中等)(31)、(学校教育教員養成/美術-初等)(33)、(学校教育教員養成/保健体育-初等)(37)はいずれも前年度激増の反動による激減。一方で、(学校教育教員養成/技術・ものづくり教育-中等)(300)は、2 年連続大幅減少の反動で 3 倍の激増。志願倍率は 1.7 倍→5.0 倍にアップ。(学校教育教員養成/家政-中等)(180)は激増で 2 年連続大幅増加。
- 工(88)は、前年度大幅増加の反動で減少。2019 年度の学科改組後、前年度の反動による増減が継続。学科・コース別では、(総合工/情報工学)(152)は 2 年連続減少の反動で 50%以上の大幅増加。(総合工/機械工学)(143)、(総合工/電気電子工学)(116)はいずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(総合工/総合工学)(47)は前年度約 2.7 倍増の反動で大幅減少。志願倍率は 6.9 倍→3.2 倍にダウン。(総合工/応用化学)(65)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 医(医)(97)は、2 年連続増加の反動は小さくやや減少に留まった。志願倍率も 5.3 倍→5.2 倍とわずかにダウン。
- 医(看護)(80)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 生物資源(89)は、前年度大幅増加の反動で減少。志願者数は 2 年ぶりに 400 人を下回った。学科別では、(共生環境)(107)を除く 3 学科が減少。特に、(海洋生物資源)(77)は前年度 50%の大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率は 4.5 倍→3.5 倍にダウン。

<後期日程>

- 人文(156)は、前年度大幅減少の反動で 50%以上の大幅増加。志願倍率は 6.6 倍→10.3 倍にアップ、10 倍を上回るのは 8 年ぶり。学科別では、2 学科とも大幅増加。(文化)(217)は前年度半減の反動で約 2.2 倍増。(法律経済)(117)は 2 年連続大幅増加。
- 教育(58)は、前年度激増の反動で大幅減少。志願倍率は 24.9 倍→14.4 倍に大幅ダウン。2014 年度の改組以降、前年度の反動による増減が継続。募集単位別では、後期募集を行う 10 募集単位中 7 募集単位が減少。また、募集人員が少ない募集単位ばかりなので増減が極端になりやすく、7 募集単位で 20%以上の増減があった。(学校教育教員養成/国語-初等)(28)、(学校教育教員養成/特別支援)(34)、(学校教育教員養成/社会科-初等)(38)はいずれも前年度激増の反動による激減。一方で、(学校教育教員養成/社会科-中等)(135)は大幅増加、志願倍率は 33.0 倍→44.5 倍に大幅アップ。

- 工(120)は、大幅増加で志願者数は2019年度の改組後では最多で、800人を上回った。学科・コース別では、(総合工/機械工学)(258)は前年度大幅減少の反動で約2.6倍の激増。志願者数は2019年度の改組後では最多で、志願倍率は4.3倍→11.0倍にアップ。(総合工/情報工学)(175)、(総合工/応用化学)(120)は、いずれも前年度大幅減少の反動による大幅増加。一方で、(総合工/電気電子工学)(59)、(総合工/建築学)(73)は、いずれも前年度大幅増加の反動による大幅減少。
- 医(医)(116)は、2年連続大幅増加。志願倍率は18.3倍→21.3倍にアップ。
- 医(看護)(74)は、前年度80%以上の激増の反動で大幅減少。
- 生物資源(66)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、4学科全てで減少。(資源循環)(55)は前年度ほぼ倍増の反動で大幅減少。志願倍率は9.5倍→5.3倍にダウン。(共生環境)(78)は2年連続大幅減少。